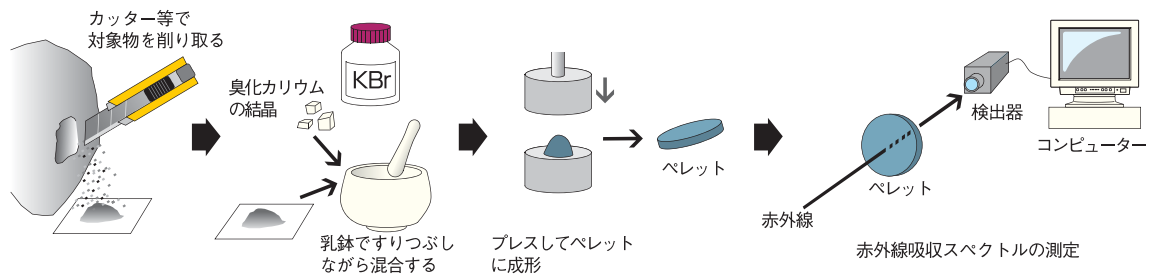


赤外線分光分析

赤外線分光分析とは、赤外線吸収現象に基づき物質を構成する分子の種類を特定する方法であり、物質(特に有機物質)の定性分析が可能です。コンクリートでは、表面の変色や汚れなどの原因物質の特定、有機系材料(剥離剤、流動化剤など)の有無や種類の確認などに利用されています。

機器分析

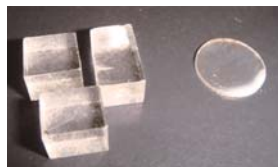
分析試料調製の手順



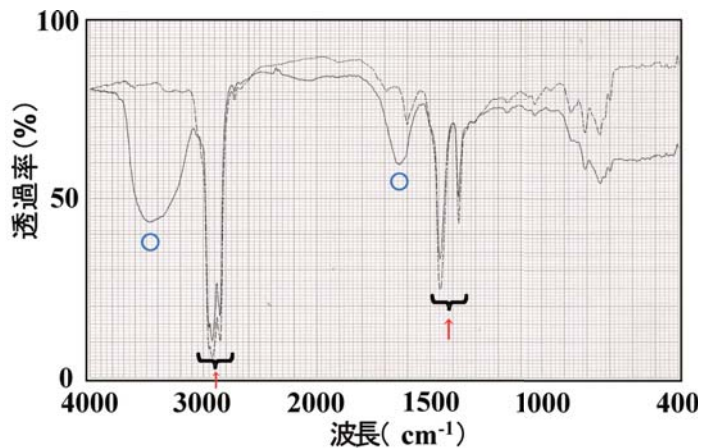
分析結果の一例



●装置の外観



●KBrの結晶とペレット



被検試料(実線)と比較物(破線)を比較しました。↑を付したメチル基、メチレン基による吸収ピークを始めとして、二つのスペクトルはほぼ一致しており、同じ物質と判断されました。なお○を付した吸収ピークは水分子によるものであり、被検試料と比較物でピークの大きさに差があるのは、両者の含水率の違いによると思われます。

赤外線分光分析

お問い合わせ先

 **Taiheiyo Consultant**
株式会社 太平洋コンサルタント

《西日本事業所》
〒756-0817 山口県山陽小野田市大字小野田6276
TEL 0836(83)3358 / FAX 0836(83)7058
<http://www.taiheiyo-c.co.jp>